

令和3・4年度 肝炎対策事業の取組概要について

1. 肝炎予防

- ・ 感染の危険性のあるリスクを自覚した対応を図るよう、肝炎に対する正しい知識をもつ
- ・ 県民の肝炎ウイルス検査受検の促進を図る。

ウイルス性肝炎に関する正しい知識の普及、早期の肝炎ウイルス検査受検、医療機関の受診について、周知啓発を実施。

主な取組として、各保健所に「肝臓週間」ポスター配布、奈良新聞広報「なら健康だより」に肝臓週間について掲載。

○奈良新聞「なら健康だより」（2021年7月27日付）

なら健康だより vol.130 次回掲載予定日 令和3年8月24日 奈良県

「風しんの無料抗体検査及び予防接種」の事業終了について

風しんの無料抗体検査及び予防接種は地域の医療機関等で受けることができます。対象者にはクーポン券が送られています。ただし、この国の「風しんの追加的対策」事業は、2021年度中に終了予定ですのでご注意ください。終了期日は市町村によって異なります。ご不明な方はお住まいの市町村へお問い合わせください。

対象者 1962(昭和37)年4月2日～
1979(昭和54)年4月1日生まれの男性

クーポン券を使用できる医療機関・保健機関はこちら
風しんの追加的対策 [検索](#)

旧優生保護法一時金に係る 受付・相談窓口のご案内

平成31年4月24日に、「旧優生保護法一時金支給法」が公布・施行され、旧優生保護法に基づき、本人の同意なく不妊手術を受けた方に対して一時金(320万円)が支給されます。県では、手続に関する受付・相談のため専用窓口を、また、聴覚に障害をお持ちの方のため、専用FAXを設置しています。一時金受付及びその他のご相談は、専用ダイヤル/FAXにご連絡ください。

奈良県旧優生保護法一時金受付・相談窓口

☎0742-27-8643 (専用)
FAX 0742-27-8643 (専用)

●受付時間/8:30～17:15
月曜日から金曜日
(土日祝日、年末年始を除く)

●所在地/〒630-8501 奈良市登大路町30番地
奈良県庁3階 健康推進課

あなたは大丈夫!? 肝臓検査のススメ

肝臓週間 令和3年7月26日(月)～8月1日(日)

過去の輸血や、学校等での集団予防接種時の注射器の連続使用等が原因で多くの人がB型・C型肝炎に感染していると見込まれています。肝炎は発症症状がなくてもいつの間にか病気が進行し、症状が出たときには「肝硬変」ということもあります。肝炎ウイルス検査をおこなえば受けましたか?

あなたは大丈夫!? 集団予防接種は昭和23年～昭和63年まで行われていました。概ね昭和16年から昭和62年生まれの方が対象とされています。

肝炎ウイルス検査は、市町村で受けられます。 [対象者:40歳以上]

●詳しくは、お住まいの市町村保健センターにお問い合わせください。
※郵付で受けられる場合は、県郵付でも検査を受けられますが、最近、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため検査を中止しています。再開が済みましたら、保健所のホームページにてお知らせします。

奈良県疾病対策課感染症係 ☎0742-27-8612

NARA 奈良の“今”をあなたにー県公式スマホアプリ「ナラプラス」 今すぐダウンロード!

【問い合わせ先】奈良県 広報広聴課 ☎0742-27-8325

○奈良新聞「なら健康だより」（2021年11月23日付）

なら健康だより vol.134 次回掲載予定日 令和3年12月28日 奈良県

みんなでジェネリック医薬品を使おう!!

後発医薬品(ジェネリック医薬品)は、先発医薬品と同じ有効成分が含まれていて、同等の効き目を発揮する薬です。先発医薬品より開発費用が抑えられるため、安価に設定されており、調剤薬局や病院の窓口での支払負担が少なくなります。

先発医薬品 後発医薬品(ジェネリック医薬品)

有効成分が同じで、効き目が同等

ジェネリック医薬品を積極的に使用することで、一人ひとりの医療費の軽減だけでなく、日本全体の医療費抑制にもつながり、次世代が安心して暮らせる未来に貢献することができます。

詳しくは **奈良県 ジェネリック医薬品** [検索](#)

【問い合わせ先】奈良県 医薬部 ☎0742-27-8547・奈良県 薬務課 ☎0742-27-8670

無料 健康ステーション

●歩数や強度がわかる「活動量計」を無料貸出中!

※活動量計の貸出は最長6ヶ月間です。

●健康チェックコーナー

●おでかけ健康法紹介&交流コーナー

※健康サポーターが健康づくりをお手伝いします。

奈良県健康ステーション(福原)

●場所:近鉄百貨店福原店2階(近鉄大和八木駅東へ350m)

●日時:百貨店休日を除く10時～18時 ※年末年始は休み

●問合せ:奈良県 健康推進課 ☎0742-27-8662 (直通)

奈良県健康ステーション(王寺)

●場所:リーヘル王寺東館5階(JR王寺駅徒歩5分)

●日時:月・火・木・金・土の10時～16時 ※水・日・初日・年末年始は休み

●問合せ:王寺町保健センター ☎0745-33-5000 (直通)

【問い合わせ先】奈良県 健康推進課 ☎0742-27-8662

あなたは大丈夫!? 肝臓検査のススメ

過去の輸血や、学校等での集団予防接種の際の注射器の連続使用等が原因で多くの人がB型・C型肝炎に感染していると見込まれています。肝炎は感染していても、ほとんどが自覚症状のないまま病気が進行し、症状が出たときには「肝硬変」や「肝がん」ということもあります。肝炎ウイルス検査をおこなえば受けましたか?

あなたは大丈夫!? 集団予防接種は昭和23年～昭和63年まで行われていました。概ね昭和16年から昭和62年生まれの方が対象とされています。

肝炎ウイルス検査は、市町村で受けられます。 [対象者:40歳以上]

●詳しくは、お住まいの市町村保健センターにお問い合わせください。
※郵付で受けられる場合は、県郵付でも検査を受けられますが、最近、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため検査を中止しています。再開が済みましたら、保健所のホームページにてお知らせします。

奈良県疾病対策課感染症係 ☎0742-27-8612

NARA 奈良の“今”をあなたにー県公式スマホアプリ「ナラプラス」 今すぐダウンロード!

【問い合わせ先】奈良県 広報広聴課 ☎0742-27-8325

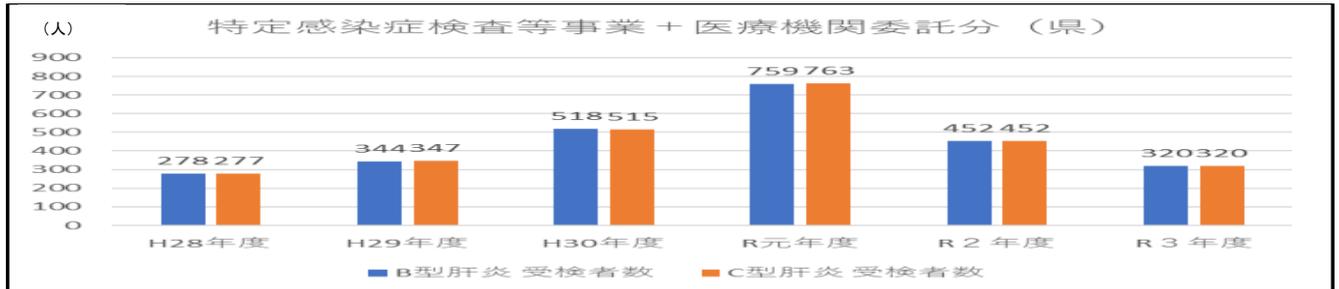
2. 肝炎の早期発見

- ・ 県民に肝炎ウイルス感染の状況を確認する機会を提供する。

肝炎ウイルス検査の受検体制の整備

厚生労働省の特定感染症検査事業実施要綱にもとづき県内保健所、平成30年度から地域の身近な医療機関で肝炎ウイルス検査を受けられる体制として肝炎ウイルス検査受診率向上事業として委託医療機関において肝炎ウイルス検査を実施。市町村における肝炎ウイルス検査（健康増進事業）を実施。

図1 特定感染症検査等事業分（奈良市含む）+肝炎検査受診率向上事業（医療機関委託分）の実施状況について



※R3年度分のみ数値確定未のため奈良市分含まず。

出典：奈良県調べ

医療機関委託分実施数	201件（H30年度）	445件（R元年度）	406件（R2年度）	320件（R3年度）
（参考 委託医療機関数）	112（H30年度）	47（R元年度）	104（R2年度）	107（R3年度）

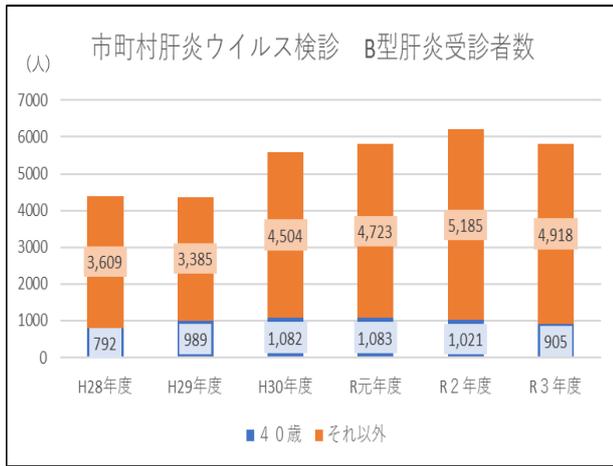
表1 特定感染症検査等事業、肝炎検査受診率向上事業（医療機関委託分）における陽性者数

陽性者数	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
B型	2	4	2	2	2	1
C型	2	2	1	6	2	0

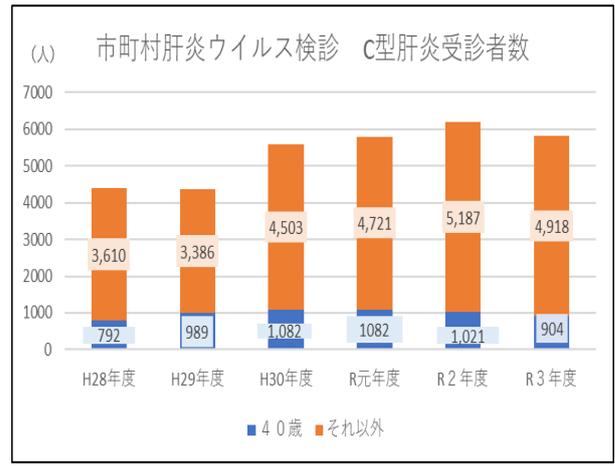
※R2, R3年度は、新型コロナ対応により保健所肝炎ウイルス検査実施なし。

出典：奈良県調べ

図2 市町村肝炎ウイルス検診（健康増進事業）受診者数



出典：市町村肝炎ウイルス検診実績報告

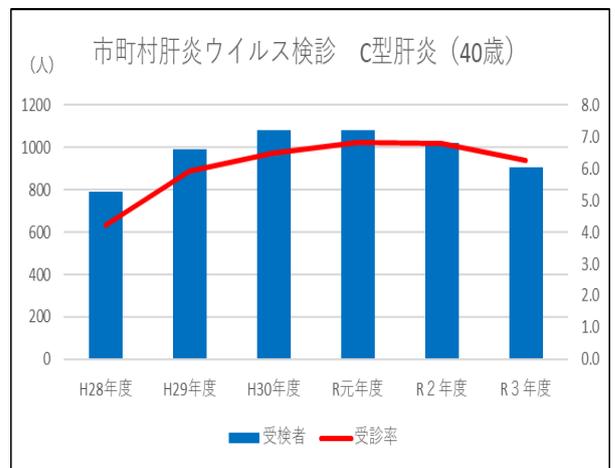


出典：市町村肝炎ウイルス検診実績報告

図3 市町村肝炎ウイルス検診（健康増進事業）40歳受診者数・受診率

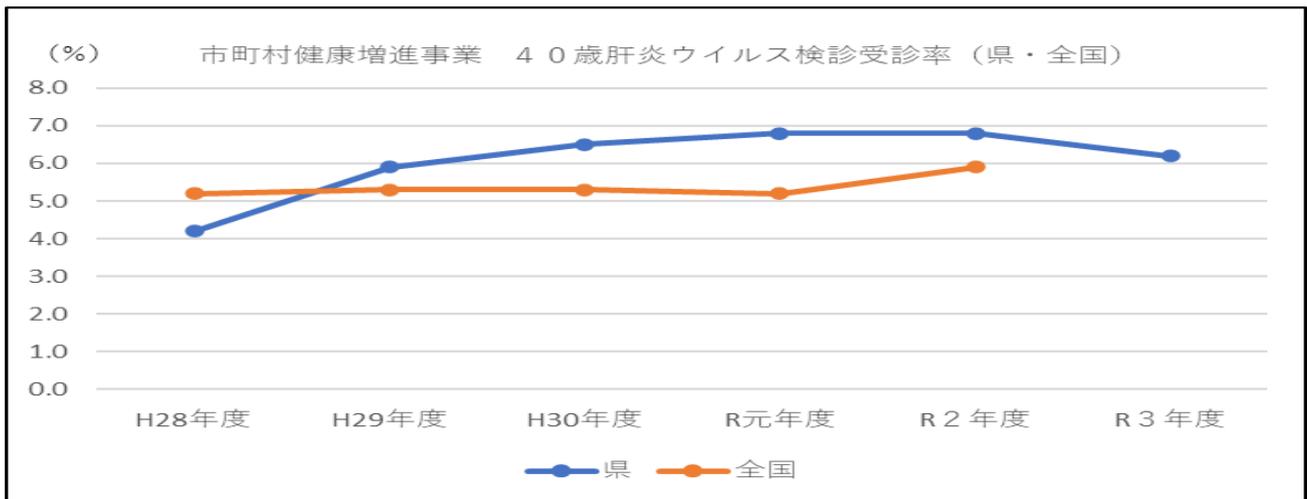


出典：市町村肝炎ウイルス検診実績報告



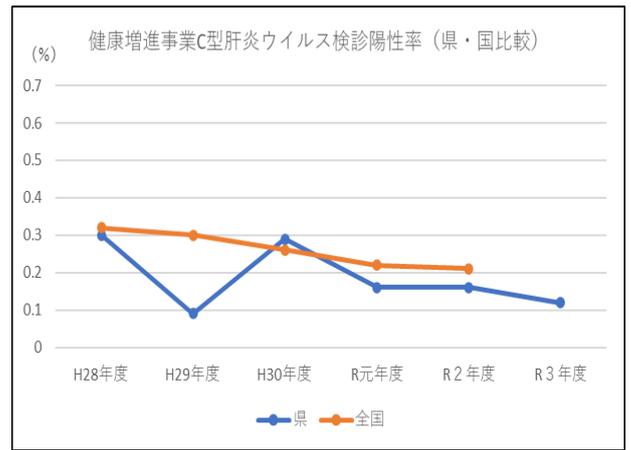
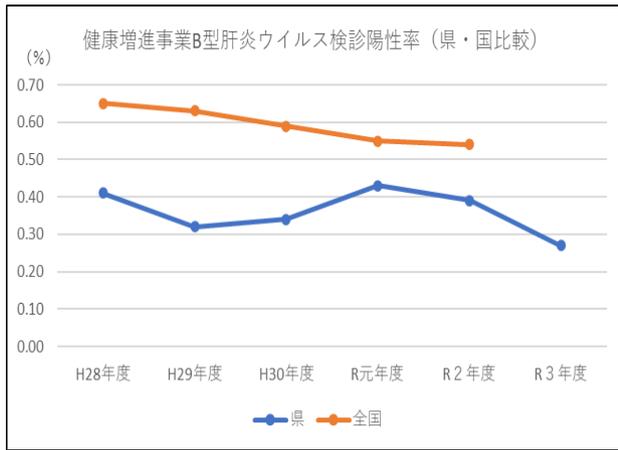
出典：市町村肝炎ウイルス検診実績報告

図4 市町村肝炎ウイルス検診（健康増進事業）40歳受診率（県・全国）



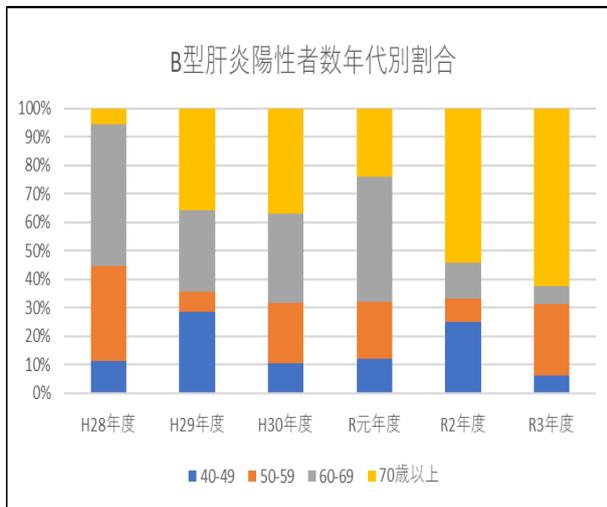
出典：市町村肝炎ウイルス検診実績報告

図5 市町村肝炎ウイルス検診（健康増進事業）陽性率（県・全国）

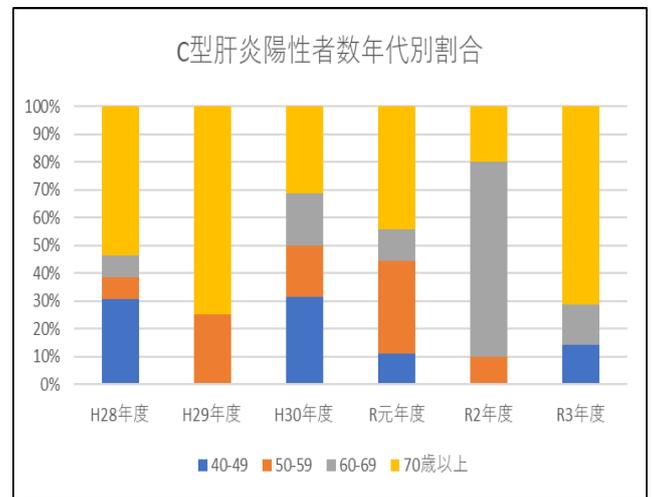


出典：市町村肝炎ウイルス検診実績報告

図6 市町村肝炎ウイルス検診（健康増進事業）年代別陽性者割合



出典：市町村肝炎ウイルス検診実績報告



出典：市町村肝炎ウイルス検診実績報告

3. 肝炎の重症化予防

・肝炎ウイルス検査で陽性であった者が、その結果を認識し、専門医療機関の受診等の行動につながる。

陽性者フォローアップ体制の整備

肝炎ウイルス検査の結果、「陽性」または「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された者の中には、医療機関を受診していない者がいる。また、C型肝炎ウイルス検査陽性者では精密検査受診者のうち約80%が慢性肝炎であった。

県では、検査実施主体である保健所・市町村が、検査陽性者のフォローアップを実施するとともに、平成27（2015）年度から、重症化予防事業を実施し、本人の同意を得た上で、受診・診療状況の確認、陽性者に必要な初回精密検査・定期検査の費用助成事業（所得制限あり）を実施。R3年度には、初回精密検査の対象に職域検査・妊婦健診・手術前検査でおおむね1年以内に陽性と判明した者を追加、定期検査に「治癒後の経過観察」を追加。

表2 市町村肝炎ウイルス検診分

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
陽性者数	31	18	35	34	34
精密検査受診者数	15	9	17	20	16
初回精密検査助成者数	13	9	10	17	7
定期検査助成者数	1	2	4	1	1
医療費助成申請者数	7	0	4	3	5

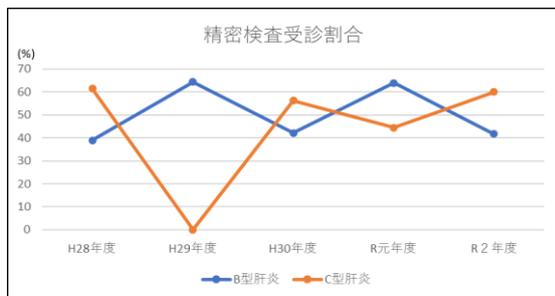
出典：市町村肝炎ウイルス検診実績報告

表3 保健所、医療機関委託分

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
陽性者数	4	6	3	8	4	1
初回精密検査助成者数	2	3	0	1	0	1
定期検査助成者数	0	0	0	0	0	0
医療費助成申請者数	0	1	0	1	0	0

出典：県調べ

図7 市町村肝炎ウイルス検診陽性者数における精密検査受診割合



出典：県調べ

陽性者のうち精密検査未受診・未把握等の内訳（H28年度～R2年度5年間）

	陽性者数	受診者数	未受診者数	未把握者数	その他 (既治療等)
B型肝炎	100	50	24	12	14
C型肝炎	52	27	10	5	10

出典：市町村肝炎ウイルス検診実績報告

表4 肝炎ウイルス検査陽性者 精密検査受診者のうち医療機関より精密検査結果返送があった者の診断名・今後の方針（H28年度～R2年度5年間）

	受診者数	診断名		今後の方針			結果未返送
		HBVキャリア	その他	治療	経過観察	その他	
B型肝炎	50	37	3	0	39	1	10

	受診者数	診断名					今後の方針			結果未返送
		肝がん	肝硬変	慢性肝炎	キャリア	その他	治療	経過観察	その他	
C型肝炎	27	0	0	22	0	3	6	5	2	5

出典：市町村肝炎ウイルス検診実績報告

※C型肝炎 精密検査結果に診断名未記入2人、今後の方針未記入9人

4. 肝炎の治療促進

- ・ B 型肝炎及び C 型肝炎の早期治療を促進する。
- ・ 肝炎患者が継続して、病態に応じた適切な医療を受けることができる。
- ・ 肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図り、治療効果、患者の生命予後や生活の質を考慮し、最適な治療を選択できるようにする。

(1) 肝疾患診療体制の構築

表 5 奈良県肝疾患に関する専門医療機関一覧（拠点病院、中核専門病院、専門医療機関）各年度 4 月 1 日現在数

R2年度	R3年度	R4年度
61医療機関	63医療機関	67医療機関

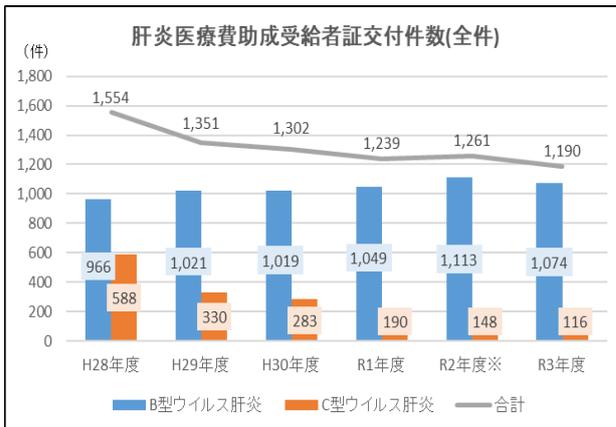
出典：県調べ

(2) 肝炎治療特別促進事業の実施（平成 20 年度～）

2008 年 4 月から、ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス療法への医療費助成を開始し、順次対象となる治療法を拡充。

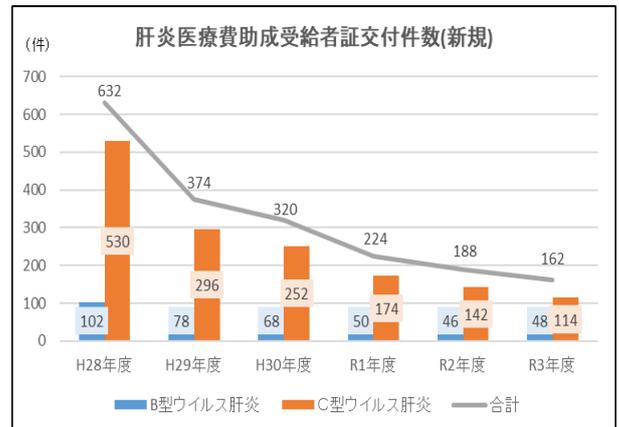
C 型慢性肝疾患に対する医療費助成受給者証交付件数は、年々減少傾向にあり平成 28 年度の交付全件数 588 件から R3 年度 116 件と 80%の減少。B 型慢性肝疾患に対する医療費受給者証交付件数は、新規交付件数は減少しているが全件数では横ばい。

図 8 肝炎医療費助成受給者証交付件数（全件）



出典：県調べ

図 9 肝炎医療費助成受給者証交付件数（新規）



出典：県調べ

表 6 ウイルス療法別肝炎医療費受給者証交付件数（全件）

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度※	R3年度
肝炎アナログ製剤治療 (B型ウイルス肝炎)	965	1,017	1,018	1,049	1,111	1,072
インターフェロン治療 (B型ウイルス肝炎)	1	4	1	0	2	2
インターフェロン治療 (C型ウイルス肝炎)	3	2	1	0	0	0
インターフェロンフリー治療 (C型ウイルス肝炎)	585	328	282	190	148	116
合計	1,554	1,351	1,302	1,239	1,261	1,190

※ 自動更新（コロナ延長）596 件含む

出典：県調べ

表 7 ウイルス療法別肝炎医療費受給者証交付件数（新規）

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
肝炎アナログ製剤治療 (B型ウイルス肝炎)	101	76	67	50	44	48
インターフェロン治療 (B型ウイルス肝炎)	1	2	1	0	2	0
インターフェロン治療 (C型ウイルス肝炎)	2	1	0	0	0	0
インターフェロンフリー治療 (C型ウイルス肝炎)	528	295	252	174	142	114
合計	632	374	320	224	188	162

出典：県調べ

(3) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

2018年12月からB型又はC型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担を軽減するため、医療費の助成事業を実施。令和3年4月より「分子標的薬を用いた化学療法」又は「肝動注化学療法」による通院を追加、1ヶ月間の肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の対象となる医療費が高額療養費の限度額を超えた対象月数が助成月を含み過去12ヶ月以内に3回以上ある場合に助成に要件を変更。

表8 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業申請件数

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
申請件数	3	6	6	3
助成件数	0	24	3	9

出典：県調べ

5. 人材育成

・患者が適切な肝炎医療や支援を受けられるように、医療機関、行政機関その他の地域間の橋渡しを行い、検査未受診者に対する肝炎ウイルス検査の受検、陽性者に対する保健指導、肝炎患者等からの相談対応、肝炎に対する正しい知識等の情報提供、普及啓発を行うための人材を養成。

肝炎医療コーディネーター養成

県内の拠点病院、中核専門病院、専門医療機関並びに保健所および市町村の肝炎対策担当部署に少なくとも1名は肝炎コーディネーターが配置されるように、県肝疾患診療拠点病院と連携して、肝炎医療コーディネーター養成研修を開催し、受講者を肝炎医療コーディネーターとして認定している。

表9 肝炎医療コーディネーター認定数 (R4年3月31日現在)

市町村	58名
県保健所	16名
県職員（保健所以外）	11名
医療機関	159名
薬局	95名
その他	4名
合計	343名

※39市町村中28市町村に配置

※R2年度は、新型コロナ感染拡大により課内BCPで開催なし 出典：県調べ

表10 県内肝疾患拠点・中核専門・専門医療機関における肝炎医療コーディネーター配置状況 (R4年3月31日現在)

医療圏	拠点・中核・専門医療機関		設置割合	配置人数
	総数	設置数		
奈良	18	5	27.7%	35
西和	16	3	18.8%	15
東和	16	4	25.0%	11
中和	14	3	21.4%	44
南和	3	2	66.6%	7
合計	67	17	25.4%	112

出典：県調べ

6. 肝炎患者への支援

- ・ 肝炎患者等及びその家族等の不安や精神的負担の軽減を図る。
- ・ 県民にわかりやすい情報提供をおこなう。

相談支援

2016 年度から県拠点病院の肝疾患相談センターに保健師の相談員に加え、専従医師を配置し、患者だけでなく医療関係者からの相談にも対応している。また、県内保健所においても肝炎患者等からの相談に対応。

表 1 1 保健所・肝疾患相談センターにおける相談対応件数（延べ数）

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
保健所(奈良市除く)	454	465	356	30	43
肝疾患相談センター	256	336	134	90	121
合計	710	801	490	120	164

出典：県調べ

情報提供

肝疾患相談センター、県ホームページで肝炎に関する情報を発信。